

新国立競技場・大屋根の防腐処理を担う

兼松サステック

兼松サステック（東京都、高崎實社長）は、新国立競技場整備事業のスタンダード観客席を覆う大屋根に使用するカラ松や杉、軒庇の製作に携わっていることを

明らかにした。

公表されている資料

によると、同社は集成材・ムク材の耐久性向

上を目指し、防腐・防蟻処理を施すこととなっている。

同社は、東北、関西、岡山工場、首都圏営業所、技術ソリューション部 開発研究課で森林認証のCOC認証を取得しており、この森林認証のサプライチェーンのなかで防腐処理を行える体制を整えている。